

寫

死亡現認(確認)證明書

※ 欄上の注意を見て書いて下さい。

資料提供者		死者の資料					現留守住祖當所者		本籍地		無名尸	
死亡の通知方法		遺骸の処理	死亡諸元					區分	都道府縣	所屬部		通稱
遺留品			死亡區分	發病時	傷病名	死亡場所	死亡日時			都	道	
本人との関係				海没	南洋群島サイパン島	昭和二十一年二月十八日	内	都	道	府	縣	
可憐(引中者)					正方ニ十哩休所	13:00	容					
現住住所							度					
氏名		(死亡當時の状況)					記		職官(後)		※ (製製官署)	
氏名		初我洞芝多神のこから					氏名當留守當名		氏名		※ (製製官署)	
氏名							氏名		氏名		昭和 年 月 日	

大典堂納

米帰還者探訪調査書

資料提供者

一 米帰還者となるまでの経緯について

米届米飯還者

[Redacted]

のことについて次の証言を得た。

昭和10頃には各取業組合所を通じて横濱突海軍建設部の人夫を募集し
たので文にた募るとした。

二 [Redacted] から同時にた募りたのは次の五名である。

④

[Redacted]

③

[Redacted]

②

[Redacted]

昭和十一年三月

尾

右のうち四名のものは交代の為昭和十六年四月頃段国にいたが
段国にいたのを現在はお米段選者となつてゐる

三 人夫として之莫かしてゐる 現地に到着迄の経緯

昭和十五年八月頃(日時は忘れぬ)此の指令により之莫か者は

八月後八時迄に集合するよう示されたので各地区から集めて来たものの全

部をばらばらした。 関徳心島若者の引率で 船の航夜を

民が命ぜられたのを 同夜夜行して 取を本発し乗

神奈川駛り向つた。 東神奈川駛りには全園から集つた若者一、八百名集合

して三泊り 日本郵船の靖国丸に乗船してサイパン島に直行しサイパン島

に到着上陸した

四 上陸後の作業の状況

関徳心島若者の取種は大工、トビ取、厨夫、船夫、羊を命ぜられたが

取種は異つた。 取種は同じであつた。

作業はサイパン島北端より西方に離れた俗称「軍艦島」といふ

小島に沈没、沈没対策のための施設構築が主任任務であった。

勿論仕事上は船に乗り付けたし陸に上った。

上船した場合はセメントの運搬荷役もあり上陸時は上り作業に終わった

五、
[redacted]の帰還が来ない理由

昭和十六年二月十七日彼は行方不明となりたかうである

当時の状況を甲斐は次のようである

[redacted]は [redacted]の部下として同一現場に勤務中であつたが

昭和十五年二月十七日一日午の昼食は一端に食べたりして後作業開始迄約

30分の休憩時間であつたが休憩後作業開始の時と云ふ時呼ばれたところ

[redacted]の姿が見えなかつたので三人一組の作業頭が [redacted]の一名

見えないので之を作業を続けさせた。この作業は本船から揚陸したセメ

ントを倉庫に運搬する作業であつた。暫く待たせて [redacted]の姿が見えなかつた

等
三
葉

原係上司にその旨を報告せしむるに付近を捜索せしむる姿は見えなかつた
當時サイパンタイムス紙の記事より 〇氏の遺體と思われし記事が二回
報導されたことがあつた。その新聞を切り取り内地に持ち帰るべく
敵国軍手横須賀に到着後 徳島に事情を報告したところ 死を
と現認されたいないかと死を決定するわけには行かないと断られた。その
まゝにして置いた。

敵師長 〇氏の消息を最後に会うが、状況不明者として
おくこゝが 申渡したと常に感じたいのである。何人ともする
こゝが必死に居りまゝに、この際 美想を率直に申し上げ 善処して
いただきたい。

六 サイパンタイムス紙の報導及びそれを見てとつた処置
サイパンタイムス紙の記事内容

昭和十六年三月十八日午後一時頃サイパン島西方20哩附近海上におりて

天馬船（二人乗）が漂流してゐるのを、渡船が発見して之を救助しようとして、遭難船に接近した際、遭難船内に入つた乗員が、救助を求め、ロープを投げよると、幼らその時、風波が高く、天馬船から人ぶくし、海上にぬかつた。そこで、渡船と天馬船と、乗船して基地に般らんと、風浪高くと、渡船も危険を感ぜられたが、放棄して基地に引揚げたものも、報告せられた。

この報章を以て、**（遭難者四名）**

（先乗）朝白丸を帰るを、現地に赴き、捜索したが、遂に遭難者を発見するに至らなかつた。

荷遣兼船と思はる船体の後、テニヤ島に漂流したを報じている。

自乗の瓦葺船の、注目符合する、遭難者の命令、岩登、服装等

から判断するに、**（行方不明となつた）**氏は、極似して

いふやうな、**（遭難した）**と思はれる。

以上がまうに、本時の文候、氣象等から判断するに、濃霧若は

天西あまのこゝろ、晴ききと忽めこれきす

昭和十一年二月十八日午後一時頃、四神群島、北島、西島

之、濃霧、海を以て、濃霧、天を以て、濃霧、ありこれきす

北島

西島

42

濃霧

由 外 寄 書

乳母壽 慶 慶 武 名 海 才 傳 雷

生 年 日 月

所 寄 船 名 寄 友

元 佑 孝 弟 船 戶 村 竹 園 延 才 德 用 船

船 主 澤 丸 永 德 棧 司 理

此 書 年 月 日 及 揚 州 (進 艇) 照 知 夫 年 十 月 七 日 夜

下 寄 了 到 北 洋 海 面

北 洋 海 面 船 主 澤 丸 永 德 棧 司 理 照 知 夫 年 十 月 七 日 夜

大 年 十 月 七 日 夜 照 知 夫 年 十 月 七 日 夜

進 艇 照 知 夫 年 十 月 七 日 夜 照 知 夫 年 十 月 七 日 夜

照 知 夫 年 十 月 七 日 夜 照 知 夫 年 十 月 七 日 夜

照 知 夫 年 十 月 七 日 夜 照 知 夫 年 十 月 七 日 夜

照 知 夫 年 十 月 七 日 夜 照 知 夫 年 十 月 七 日 夜

照 知 夫 年 十 月 七 日 夜 照 知 夫 年 十 月 七 日 夜

照 知 夫 年 十 月 七 日 夜 照 知 夫 年 十 月 七 日 夜

照 知 夫 年 十 月 七 日 夜 照 知 夫 年 十 月 七 日 夜

照 知 夫 年 十 月 七 日 夜 照 知 夫 年 十 月 七 日 夜

照 知 夫 年 十 月 七 日 夜 照 知 夫 年 十 月 七 日 夜

7499

事

本報記

[Redacted]

205

本報現將姓名及住址

本報三同記

[Redacted]

中全 在本先

本報記者

[Redacted]

[Redacted]

死 殺 者 調 書

本籍地	現住所	所属部隊	入国年月日	等 級	内 地 港 灣 赴 任 年 月 日	外 地 赴 任 年 月 日	概 務 要	死 亡 年 月 日	死 亡 所	死 亡 原 因
	今 左	第二十五 敬 正 衛 隊	昭和八年 五月 日	一 等	昭和八年 七月 六 日	昭和九年 一月 日	昭和九年 二月 十日 赴 任 八 便 敷 十 二 日 赴 任 向 左	昭和九年 二月 十八 日	左 手 中 部 腕 部 左 足 部 切 断 左 足 部 全 傷	昭和九年 二月 十八 日 赴 任 八 便 敷 十 二 日 赴 任 向 左
					海 陸 名 地	海 陸 名 地	海 陸 名 地	海 陸 名 地	海 陸 名 地	海 陸 名 地
					現 役					
					兵 種					
					機 肉 兵					

6010

4011

昭和二十二年六月六日

申告者

入籍番號	等級	代名
現任所	本籍地	
所属部隊		

備考

- 一 本調査は死没者の身上関係一切を處理するものである。慎重に且詳細に記入して下さい。
- 二 他人の聞知を承知した事項は其の旨末尾の餘白に記入して下さい。

本人は同公十八年三月廿日公私を分明す

故 [redacted] 僕戦死前ハオトトシク 勇気無量モシテ眞白自テ 勤務ヲ盡シテ居マシタ

右申告は私親友等と同僚人等所為ニ加テ取扱マシメテ 人等スルテ相違ハ有ラズ

別紙 甲 連 報

戦没者確認報告

報告者の當時の

所轄、部隊名

報告者の官階

氏名 (英名者)

報告者の

報告者の

報告者の

報告者の

送行の

その他

及

死没者の状況

海軍一等主計兵曹

海軍一等主計兵曹



6012
125-11

第三十根拠地隊第三氣象隊附

海軍少尉 (復員当時)

艦長

中部太平洋及びジャバ方面に観測
終戦前修理ノ為ニ機組費ニカエル

本籍地

所轄

戦没区分

戦没年月日

戦没

場所

戦没状況

又

戦没後

又

第三系象隊附第三正良丸乗組

戦死 (頭部爆弾今片創)

昭和十九年三月十六日

台湾基隆被泊中

第三正良丸 三番機銃樓より戦死

台湾基隆港被泊中昭和十九年三月十六日
 十四機来襲機銃樓被下り時戦死区分
 迎り戦死 戦死後四日目に基隆父葬場
 二於テ又葬ニシテ遺骨ハ基隆本願寺ニアツケ
 基隆港 出港前ニ本願寺ニ行キシ時遺骨大尉
 氏名不詳ト共ニ百三十一号ニ付テ高砂丸
 二乗ルシタリ由ト信言ノ詔其後ニ下不祥デス

32848

32848

大正三〇二六六

死没者調査

2-20

671 807

本籍地	所屬部隊	階級	入隊年月	定等級	内閣省	勤務概要	疾病(受傷)年月日	病名(受傷)概要	死没(死亡)年月日	死没(死亡)概要	在由	昭和	年	月	日
						高野場 沼津 兵舎 建設		敵機炸彈 直撃 受傷 爆死	昭和六年 五月 六日 午前 九時 三十分 頃 南大平洋 八ノ木 島						

備考

- ① 本朝書目 郡原長六 所務取致者等 其世方便其為人等 却長免通致
- ② 吳城通稱 持務主官 雖在天下 亦居其分記 記載
- ③ 同者 郡人 勿拘 但亦 務身 有之 記載
- ④ 知得 之 範圍 於 山 東 得 之 記 載
- ⑤ 他人 易 關 中 之 承 知 之 事 實 亦 有 記 載

100

整理番號 13

軍人現況不明者調書

所 (詳令年月日) 籍 二六五二 (八五二二四) 留守擔當者		等級 上等		氏名 [Redacted]		生年月日 [Redacted]		入籍番號 [Redacted]		現住所 [Redacted]			
家族の承知してゐる状況		差出日附 (部隊符號) 受領年月日 (検閲者印) 内給		本人あらの最後の通信		提供年月日 情報提供者 同右現住所		歸還者からの情報 提供年月日 情報提供者 同右現住所		本人とは 何時で何 だつたか 其の時の 本人の状 況 同部隊名 [Redacted]		内給 内給 内給	
内給出最年月日、場所、無病名(又は航空機名)		内給 内給 内給		内給 内給 内給		内給 内給 内給		内給 内給 内給		内給 内給 内給			

内給出最年月日、場所、無病名(又は航空機名)
 昭和二十一年五月二十日横濱
 陸軍省
 陸軍省
 陸軍省

其の
 現住所
 死亡年月日
 死亡原因
 [Redacted]
 [Redacted]
 [Redacted]

75

<p>佐 人 資 料</p>	<p>世 話 課 (科)</p>	<p>其の他究明上参考と なるべき事項</p>	<p>家族受領の情況及 取扱経理部</p>	<p>昭和二十一年八月一 日又は其の後に未復 員用を出したが 出してなければその 理由</p>	<p>① 簡章から何か 通知があつたか ② 其の他のところ から何か通知が あつたか (右通知した人 の住所氏名)</p>	
<p>5788 22年3月 日 登録</p>			<p>佐 在 保 地 方 復 員 局 経 理 部</p>	<p>返 来 用</p>		
		<p>其の他究明上参考 となるべき事項</p>	<p>息 消 の 人 本 の 後 の</p>			<p>ばらばら 等</p>
		<p>本人の消息をよく 知つてゐると思は れる者の住所氏名</p>	<p>作 職 月 日 收 容 場 年</p>	<p>行 進 年 月 日 原 因</p>	<p>ばらばら 等</p>	
		<p>其の他究明上参考 となるべき事項</p>	<p>ばらばら 等</p>	<p>ばらばら 等</p>	<p>ばらばら 等</p>	

5788
22年3月
日
登録

12800

未帰還五二六七号

昭和三十四年十月二十三日

厚生省引揚援護局未帰還調査部第四調査班 (海軍班) ；

殿

未帰還者の消息調査について (照会)

本籍地

住所

右の者は、

に勤務しながら農業をやっていたが、昭和十八年頃より消息が

なく、未帰還である旨の留守家族 (叔父) の届出により

未帰還者として調査中のものであります。

本籍地	[Redacted]
住所	[Redacted]
右の者は、	[Redacted]
に勤務しながら農業をやっていたが、昭和十八年頃より消息が	[Redacted]
なく、未帰還である旨の留守家族 (叔父) の届出により	[Redacted]
未帰還者として調査中のものであります。	[Redacted]

このたび、

氏に照会したところ、

カ町の居住者については貴殿が詳しく知つてゐるであらうと回答を受けました”

つきましては、御多用中まことに恐縮であります。左記事項について御承知であれば、何分の御回報をお願いします。

記

一 [] に居住してゐたてしうか、居住してゐた場合

何時頃どんな業務に従事しておりましたか。

二 軍属に採用されたことはないてしうか、採用されたことがある場合、その部隊名、採用、解雇年月日等

三 本名の消息について承知してゐると思われの方の住所、氏名等

四 千ヤランカ町の居住者でまだ他に状況不明者がありますが、
同町の死亡者名簿等所持しておられませんか。

五 その他調査上の参考事項

〔左〕は昭和十八年以前に

難攻交々として勤務中、昭和十九年六月十一、十三日、三日間に

米軍の敵前上陸を敢行し、（すまみ） 地帯には空襲に直り

日夜砲撃を受ける艦砲爆撃のやむ人畜舎滅的打撃を蒙

け、友軍に死傷を蒙り、（すまみ） に相違なくし

と関係ある事と思はれ

一 昭和十八年頃より消息がないと云うが、内地の御方は判り

者でないやうか、昭和十八年度から軍の秘密関係に乾渉を

受ける事か、内地新軍等は、一々警察の査検に依らざるは出書

出来得ない事になり、本島内住民は他島出向殺動等

HERE!

書 白

前線に在る者より

左記に綴る遺書に對し 伊係連方懇懇に

記

終戦後一ヶ月 終然たる祖國の状況を想ひ

語人一筆に上り候

全負戦死の結束に 堅く太平洋の一孤島に陣を敷き

勇戦せる月 其の間戦意愈々祖國との連絡も

上意に任せて 唯心中祖國同胞の安否を念ひ

昭和十九年一月二十日 二十日

伊係連

後 伊係連



DO NOT WRITE HERE!

書 白



5

DO NOT WRITE

此ノ事痛惜の至りに祈り候
今内地へ通信の機会を得て隊長と
市家様一統様ノ侍進福を祈り々哀悼
の意を表し奉り候

八月五日

發身

隊長

様

本人住所

MY ADDRESS IS,

昭和二十一年四月一日

叔ノ住所ハ マリヤナ群島カカ島

REF. BY 421-6-14 2125 AIRTEL 2125
1941-6-10 10:15 AM

5-10

1 15 15

死亡現認(確)証明書

資料提供者		死者の資料					区分	現留守担当者	本籍地	所属部	
死亡を知った方法		遺骨及び遺骸の処理	死亡区分	発病時	傷病名	死亡場所				死亡日時	通称
		57	遺骨57			サイパン島	昭和十九年六月十五日	内		縣府道都	
係関のと者亡死								容			細部所屬
								確度			地局面
											※
隊部属所		所住現		死亡当時の状況及び参考資料		者当担守留		名氏		種兵種役	
[Redacted]		[Redacted]		昭和十九年三月... [Redacted]... 試行... [Redacted]... 遺族母... [Redacted]...		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
名氏級階		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
技師		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	

裏面記載上の注意を見て書いて下さい (※及び裏面の各欄は記載に及びません又書き方がわからない点がありましたら遠慮なく調査官に聞して下さい)

五七現認書

女竹報

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

右の者は竹筵港の [Redacted] 部隊で水揚作
として勤務していたが昭和十九年六月十日頃
コニコノ山で空爆により死したことも
現認致した。

昭和三十三年四月十七日

元竹筵港施設部 野村 幸次郎

[Redacted]

[Redacted]

(旧此) [Redacted]

一、本籍地
一、現住所

親

產生

五男

生

57323

軍歷

一、昭和七年八月拾五日 應召 吳海兵團入隊

(海軍整備兵)

一、昭和七年八月十五日 頃 博多海軍航空隊入隊勤

一、昭和七年九月十日 頃 津見島海軍航空隊入隊勤

一、昭和八年九月廿三日 岩國金谷二七六一偵察部隊

備成下入隊

二

一、昭和十九年九月四日 金谷ヲテ軍艦「翔鶴」ニ乗艦

一、五 日 岩國港出港

一、六 日 シンガポールの着

一、七 日 五 港出港 (倉庫係)

一、八 日 午前九時半頃ヨリ土曜夜

セリアテ海方面ヲ敵奥窟
ノ為ニ變況ナル。

(註) 倉庫係一名ノ中一名 [] 兵費

ノ三枚助ボタル由ナリ

右ハ億百以東戦反ナリル者ヨリ復員後面接
シテ詳細詳承セラルル次第ナリ
亦人ヨリハ津見島佐屋係以テ音信無し。

以上

No. D-451

1979. 9. 10
六三三號
五三
六三三號
合報

27323
601室
(胡德)

一
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]

[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]

五、六、九
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]

中
德

部 官 本 見 部 隊 名 稱	死 效 能 定 審 案 一 般 分 定 一 般	部 隊 一 般 員 主 辦 員 定 定 員 15 6 案
職 務 等 級		
姓 名		
姓 名		
職 務 及 以 確 定 理 由		

現認証明書

本籍

[Redacted Name and Address]

甲

右者は昭和十九年四月サバニ島にて国民学校より年少工員空
航整備工に志願致し受験合格し海軍南東方面空航工廠
(之)ニ七部隊に採用當時七名の年少工を昭和十九年四月上
旬頃年少工第三期生としてサバニ島第一農場アスリート飛
行場の整備工として入隊 部隊長 [Redacted] 中尉 [Redacted] 中尉 [Redacted]
[Redacted] 下士官の指導を受け勤務中でありました

行動

昭和十九年四月以降五月まで空航整備工として [Redacted] 下士官の
指導を受け勤務中でありましたが昭和十九年六月末厚上陸作戦により
昭和十九年六月十三日頃より敵艦砲撃隊よりアスリート飛行場に激し
な砲撃を受け六月十四日夜頃アスリート飛行場の後方に退避して居りま
した状況変化によりバナルに移動をせしめバナルウエドニール水上基地
の地帯に退避しウエドニールは水深地帯を又厚の森林を以て駐屯兵
は水上基地の部隊と我々の年少工員六七十名が退避して居りしが
戦況変化をバナルに移動途中敵砲撃隊砲撃により昭和十九
年六月二十五日頃バナル地帯において戦死した

私 [Redacted] 年少工員採用後より行動と共に戦死した旨申し
明けても然らざりましたか

右戦死した事と現認致します

本籍

[Redacted Name and Address]

現認者 元海軍年少工 [Redacted]

[Redacted Signature]

書 明 証 認 現 亡 死

邦

海

陸



資 料 提 供 者		死 亡 者												
死 亡 者 知 つ た 方 法		遺 留 品 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	元 諸		亡 死		発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職 称	所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職 称
自 理 認 認				死 亡 事 由 (傷 病 名)	死 亡 場 所	死 亡 日 時	死 亡 区 分							
<p>自 理 認 認 死 亡 者 知 つ た 方 法 手 伝 った</p>		なし	現 地 に 埋 葬	頭 部、胸 部 砲 弾 創	サ ン ト 島 カ ラ ン コ ロ 不 ト ー コ	昭 和 十 九 年 六 月 三 十 日 夕 四 時 頃	※ 戦 死			内			南洋 群 島	南洋 群 島
<p>関 係 の と 者 亡 死</p> <p>同 親</p>													南洋 群 島	南洋 群 島
<p>所 住 現</p> <p>邦 人</p>													南洋 群 島	南洋 群 島
<p>職 部 所 所 域 隊 轄 属</p> <p>邦 人</p>													南洋 群 島	南洋 群 島
<p>(名 職) 級 階 名 氏</p>													南洋 群 島	南洋 群 島
<p>死 亡 当 時 の 状 況 及 び 参 考 資 料</p> <p>ト ー コ 島 の 戦 争 が 激 し 下 了 に フ ル 糖 産 出 農 場 が 甘 糖 農 場 に 多 量 増 産 に つ づ け ら れ て ま し た が オ ー 回 目 の 艦 砲 射 撃 時 本 島 上 陸 部 隊 に 砲 弾 が 命 中 し て 即 死 し ま し た。</p> <p>後 で 假 埋 葬 し て や り ま し た。</p> <p>死 亡 者 知 つ た 方 法 手 伝 った。</p>													南洋 群 島	南洋 群 島
<p>者 当 担 守 留</p> <p>名 氏 所 住 現</p> <p>統 柄 (一)</p>													南洋 群 島	南洋 群 島
<p>死 亡 時 刻 (又 是 際 名 職 は 又)</p> <p>満 託</p>													南洋 群 島	南洋 群 島
<p>名 氏</p>													南洋 群 島	南洋 群 島
<p>年 月 日 生</p>													南洋 群 島	南洋 群 島
<p>女 (男)</p>													南洋 群 島	南洋 群 島

連絡番号	留守担当者	氏名	現住所
	妻		
家族の承知されてゐる情況			
職名	志願等の別、現地採用又は採用年月日及部隊名(船日は船名及船主)	海外勤務の部隊名及現所	本人からの最後の手紙に就いて御記入下さい
司政官、船長、書記、扶(船務主任)	兵	南洋群島 海軍航空隊	差出日附()年()月()日 部隊番号() 受領年月日()年()月()日 検閲者印()
内出船名、行先がわかりますら書いて下さい	家族受領の情況と取扱かつてゐる経理部を書いて下さい	一、部隊長から何か通知がありましたか 二、僚艦若から何か通知がありましたか 三、其の他のところから何か通知がありましたか 四、以上より通知した人の住所を聞いて下さい	その他本人に就いて参考になることを書いて下さい
歸還者からの情報 (帰還者の方は本欄に未処置者個人に対すること、自分の属してゐた部隊の情報を記入して下さい)			
情報提供者	同右現住所	本人とは何処で何時から何処へ何時に入つたか、状況を記入して下さい	職政者でしたらその状況を本欄に記入して下さい(死亡か溺死なら病い名を記入して下さい)
部隊身分氏名		死因	死亡年月日
軍医		溺死	昭和十九年六月二十日
		死亡の場所	状況
		サイパン島 海岸	胸部貫通銃創即死
行方不明ならばその状況を記入して下さい	原因	場所	
他に本人の消息をよめる方住所氏名を記入して下さい	備考	本人と同時期に戦死した軍医()の遺族()より昭和十九年全受給中でありました。	

未定子監済

書 明 証 認 現 確 亡 死

陸・海・邦

者 供 提 料 質	者 亡 死														
	遺留品の処理	遺骸の処理及び	元・諸	亡	死	発病場所	発病時期	区 分	本 籍 地	開戦時の住所 (在 留 地)	所 属 (所 轄)	部 隊 又 は 職 域 名	稱 通	有 位	
<p>法方たつ知を亡死</p> <p>同一交戦し復讐した人死にする者同一に居た人</p> <p>関係のと者亡死</p> <p>錫</p>	なし	なし	死亡事由 (極病名)	死亡場所 南洋サイパン島マタンシヤ	死亡日時 昭和二年六月三十日	死亡区分 ※	戦死	※	※	内	〃	〃	〃	〃	〃
<p>所 属 所 轄 部 隊</p> <p>青年部隊</p> <p>(名) 姓 氏</p>	現 住 所	<p>死亡当時の状況及び参考資料</p> <p>現死</p> <p>此は戦死当時同一交戦せる者なりは軍傍のため米軍の押込より昭和二年六月復讐後司令部事務出来ず今度聞て復讐しつたサイパン島マタンシヤにありて砲弾のため左足大股部及び腹一面に命中し戦死した</p> <p>其時〃の家族もジャングルにひなんせし〃間もなく死にせぬ</p>								<p>者 当 担 守 留</p> <p>名 氏 所 住 現</p> <p>続 柄 (兄)</p>	<p>種 兵</p> <p>種 役</p> <p>名 氏</p> <p>年 月 日 生</p> <p>女 (男)</p>				

陸・海・邦 死亡 現認 証 明 書

資 料 提 供 者		死 亡 者												
死 亡 知 っ た 方 注		遺 留 品 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	元 因 (傷 病 名)	諸 死 亡 場 所	亡 死 亡 日 時	死 亡 区 分	発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職 名	通 有 國 籍
現 認 (同 行 動)			戦 況 急 迫 した の 処 理 不 能 であ った。	米 軍 艦 / 艦 砲 射 撃 による	南 洋 サ イ パ ン 島 北 村 カ ナ ヘ ラ 社 社 境 内	昭 和 十 九 年 六 月 三 十 日 午 後 三 時 半	*			内 容			五 根	主 力 隊
死 亡 者 と の 関 係		知 人												
現 住 所		[Redacted]												
所 属 部 隊		業 子 製 造												
階 級 (名 氏)		[Redacted]												
死 亡 時 刻 (階 級 名 氏 又 は 職 名)		昭 和 十 九 年 六 月 三 十 日 午 後 三 時 半												
名 氏		[Redacted]												
年 月 日 生		[Redacted]												
性 別		男												
死 亡 時 刻 の 状 況 及 び 参 考 資 料		サイパン支庁警務課は防犯本部であり警防本 防りの六月十日大空襲以来本支員の大空襲一 邦人老人や婦女子等の避難誘導に苦しみ初め タガローチの方面に避難したカララウラウあり 上陸した米軍戦車隊の砲撃によりかたがたの次々 と後退し泉ヶ方面に北村方面に移動した 六月二十七日に合三十九日カララウ社社境内に 止つて居た三十一日米軍艦の艦砲射撃に 受り不慮に[Redacted]君遂に此所に於て戦死 一最後とされた。数箇所に入負傷出血甚かく 一時間位に於て死した。其の後急いでお世に 移すに終ひた。尚此所が大多数の 死と有るありしに。												
守 留 担 当 者 名 氏		統 柄 (弟) [Redacted]												

11/63

死没者調書

本籍地

現住所

所屬部隊

入團年月

官等級

生年月日

姓名

役種

兵種

電報符又ハ

入籍番号

内地港灣出發年月日

戦地到着年月日

勤務ノ概要

行方不明ト云々年月日

日及ビ當時ノ状況

[Redacted]

右 田中

四二警 陸部隊

昭和九年五月一日 陸 警備隊

[Redacted]

[Redacted]

歩兵

昭和九年四月十五日横濱出港

昭和九年五月二十日横濱上陸

オヤハン 警備隊勤務

死病(受傷)年月日

昭和九年七月廿日

病名(受傷部位)

右腿部彈片創

死病(受傷)又ハ

昭和九年七月廿日 夜間作業中二日午前二時頃

戦没時ノ状況

機砲射撃中重傷左腿部に弾片創を蒙り

死年月日時刻及場所

二日午後頃廿十ハノ野戦病院に於て戦傷死す

右申告又

昭和九年一月十日

申 本籍地

歸郷先

右同シ

告 所屬部隊

四一警隊

官等級

海軍一等水兵

者 氏名

電報符又ハ

入籍番号

書 明 證 認 現 確 亡 死

邦 海 陸



資 料 提 供 者		死 亡 者													
死 亡 者 知 つ た 方 法		遺 留 品 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	諸 死 亡 場 所	亡 死 亡 日 時	死 死 亡 区 分	発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	域 名	部 隊 又 は 職 名	所 属 (所 轄)
資 料 提 供 者															
カラバン町ナヤランネーブの戦闘中目録		ナ	現地埋葬	胸部貫通銃創	カラバン町ナヤランネーブ	昭和十九年七月二日	戦死			内			五根		南洋群島
関係のと者亡死															
所 住 現															
職 部 所 所 域 隊 轄 属															
(名 職) 級 階 名 氏															
死亡当時の状況及び参考資料		昭和十九年七月一日カラバン町ナヤランネーブにおいて敵軍と交戦中、我方は武装をなくし、止む無く小石を以て敵と交戦した。下隊、私の隣りにいた氏、敵の小銃弾をうけて、その場で即死した。これを目録とした。													
者 当 担 守 留		名 氏		続柄(父)											
死亡当時の状況及び参考資料		死亡当時の状況及び参考資料													

戦死現認証明書

昭和十九年七月一日 南洋サイパン島北ガラパン町ポトリ
コ山の岩空に日本の軍人軍属及び附近の在留邦人
約一万人が籠城战斗中、[redacted]が艦砲射撃
に依つて乳と乳の間 約七寸位打抜かれているのを発見(午後
三時頃 当時負傷箇所より 呼吸をしていましたが
五時過戦死いたしました。妻の [redacted] 及び [redacted] の父
(七月四日戦死) [redacted] の母と私四人で死体にのみかぶせ、其の
右攻衛が益々激しくなつたため 私達は岩の北岩に逃げ
上りました [redacted] の戦死確認には相違なき事
を証明いたします

[redacted] と [redacted] の夫婦媒介者の為 最古を
見とけた次第です

右 [redacted] の戦死確認証明いたします

昭和三十三年十二月三十七日

鹿児島県

証明者の氏名

現住所 [redacted]

本籍 右 同

当時の住所 昭和十九年七月

死 亡 現 認 證 明 書

陸 海 邦

資 料 提 供 者		死 亡 者												
死 亡 者 知 方 法		遺 留 品 的 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 的 処 理	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	諸 死 亡 場 所	亡 死 亡 日 時	死 死 亡 区 分	発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職 名	有 國 籍 通 称
同 人 の 疾 疾 と 全 行 動 共 に 其 の 所 死 亡 者 とな っ た				米 軍 銃 砲 による 直 撃 死	サイパン 島 北 村 (サキウラジ)	昭 和 19 年 7 月 7 日 16 時 頃	※ 甲			内 容			才 原 根 城 隊	才 原 根
死 亡 者 と 関 係 者		同 村 人												
現 住 所		[Redacted]												
所 属 部 隊 (職 域)		無 取 (和 人)												
職 名 (職 名)		[Redacted]												
死 亡 時 状 況 及 び 参 考 資 料		米 軍 銃 砲 による 死 亡 事 故 と 認 認 した 昭 和 19 年 7 月 7 日 16 時 頃												
守 留 担 当 者 名 氏 所 住 現		統 柄 (姉) [Redacted]												
兵 種 海 軍 馬 房		死 亡 時 刻 (職 名 職 名 又 是 等) (Rak-) 馬 房												
年 月 日 生		[Redacted]												
女 子		[Redacted]												



陸・海・邦 死亡現認証書

者供提料資		者 亡 死													
法方たつ知を亡死		遺留品の処 理	遺骨及び遺 骸の処理	元	諸	亡	死	発病場所	発病時期	区 分	本 籍 地	開戦時の住所 (在留地)	所屬(所轄)	部隊又は職	域名
同一人・家族と行動を共に し其の死を知らず				(死亡事由 傷病名)	死亡場所	死亡日時	死亡区分						通	有	固
係聞のと者亡死				米軍艦砲	少イハ島北村分ナルガン	昭和11年7月10日午後	戦死			内			五根	五根	五根
所住現				※ 甲	※ 甲	※ 甲	※ 甲	※	※	容			※南方サイパン島	加部所屬	地
職部所所													種兵種	種役	種
無													海軍	海軍	海軍
(取人)													死亡時の状況及び参考資料	死亡時(義名) (義名)	死亡時
(名職)級階 名氏													統柄(姉)	馮託	馮託
													死亡時	名氏	名氏
													昭和11年7月10日午後4時	年	年
													米軍艦砲による死にたこと現認した	月	月
													死亡時	日生	日生
													女	男	男

3287

3287

死歿者調書

本籍地

現住所

所属部隊

入團年月

官等級

内地渡海發着年月日

戦地到着年月日

勤務概要

發病(受傷)年月日

病名(受傷部也)

發病原因(戦時發病不明)

死年月日時刻及場所

右申告又

[Redacted]

右

四五機務隊

昭和十九年

一等水夫

昭和十九年四月九日乗船上白根濱港出發

昭和十九年五月八日「バヲオ」コソ島乗陸

乘陸右「場場取葉」陣地構築作業に従事ス

昭和十九年六月頃發病(乗船當時「於」發病「マ」リ「タ」ル「ト」知「ス」)

脚氣「マ」リ「ア」ミ「バ」一「年」新「ニ」罹「病」

不明

死年月日時刻及場所「バヲオ」コソル

又

昭和十一年六月三日

本籍地

現住所

所屬部隊
山口警察隊

氏名

[Redacted]

職

階級

[Redacted]

官等
海軍二等大曹

610-10

書 明 證 認 現 確 亡 死

邦・海・陸

資 料 提 供 者	死 亡 者										
	遺留品の処	遺骨及び遺骸の処理	元(死亡事由(傷病名))	諸死亡場所	死亡日時	死亡区分	発病場所	発病時期	区分	本籍地	開戦時の住所(在留地)
同一行軍を 上りし。		現地にて埋葬	横濱市磯子区磯子	北ノ島マタンリヤ	昭和19.7.10	* 戦死			内		
関係のと者亡死	三女の父										
所住現	[Redacted]										
職部所(所隊轄属)	[Redacted]										
死亡当時の状況及び参考資料	死亡当時、北ノ島マタンリヤから 向ふ所に向ふ最良の安否 を報告し、陸軍部より 消息を知らず、即ち 死亡と見做した。										
続柄	[Redacted]										
種兵	[Redacted]										
種役	[Redacted]										
名 氏	[Redacted]										
年 月 日 生	[Redacted]										
女 (男)	[Redacted]										

19. 5. 26. 21. 21. 21.

33. 5. 5. 21.

現認書

本附籍

[Redacted]

[Redacted]

([Redacted])

昭和十九年七月十日頃迄の君が甘みこ
出ゴニゴニで死してゐるのを現認致
した。

一九五一年七月二十六日

現認書

[Redacted]

[Redacted]

([Redacted])

書 明 證 認 現 確 亡 死

邦 海 陸

裏面記述上の注意を見ておいて下さい。(※及び裏面の各欄は記載に及びません)

資 料 提 供 者		死 亡 者																				
死 亡 知 方 法		遺 留 品 の 処 理	骸 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	諸 元		死 亡 日 時	死 亡 区 分	発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職 域 名	固 有 通 称	細 部 所 属	地 区 局 面	役 種	兵 種	死 亡 時 階 級 (業 職 名 稱 は 又)	氏 名	年 月 日 生	性 別
理 認 した				死 亡 事 由 (傷 病 名)	死 亡 場 所																	
法 方 た つ 知 を 亡 死		理 認 した	遺 留 品 の 処 理	死 亡 事 由 (傷 病 名)	死 亡 場 所	死 亡 日 時	死 亡 区 分	発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職 域 名	固 有 通 称	細 部 所 属	地 区 局 面	役 種	兵 種	死 亡 時 階 級 (業 職 名 稱 は 又)	氏 名	年 月 日 生	性 別
保 関 の と 者 亡 死		理 認 した	遺 留 品 の 処 理	死 亡 事 由 (傷 病 名)	死 亡 場 所	死 亡 日 時	死 亡 区 分	発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職 域 名	固 有 通 称	細 部 所 属	地 区 局 面	役 種	兵 種	死 亡 時 階 級 (業 職 名 稱 は 又)	氏 名	年 月 日 生	性 別
所 住 現		理 認 した	遺 留 品 の 処 理	死 亡 事 由 (傷 病 名)	死 亡 場 所	死 亡 日 時	死 亡 区 分	発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職 域 名	固 有 通 称	細 部 所 属	地 区 局 面	役 種	兵 種	死 亡 時 階 級 (業 職 名 稱 は 又)	氏 名	年 月 日 生	性 別
職 部 所 所 域 隊 轄 属		理 認 した	遺 留 品 の 処 理	死 亡 事 由 (傷 病 名)	死 亡 場 所	死 亡 日 時	死 亡 区 分	発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職 域 名	固 有 通 称	細 部 所 属	地 区 局 面	役 種	兵 種	死 亡 時 階 級 (業 職 名 稱 は 又)	氏 名	年 月 日 生	性 別
(名 職) 級 陸 名 氏		理 認 した	遺 留 品 の 処 理	死 亡 事 由 (傷 病 名)	死 亡 場 所	死 亡 日 時	死 亡 区 分	発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職 域 名	固 有 通 称	細 部 所 属	地 区 局 面	役 種	兵 種	死 亡 時 階 級 (業 職 名 稱 は 又)	氏 名	年 月 日 生	性 別
者 当 担 守 留		理 認 した	遺 留 品 の 処 理	死 亡 事 由 (傷 病 名)	死 亡 場 所	死 亡 日 時	死 亡 区 分	発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職 域 名	固 有 通 称	細 部 所 属	地 区 局 面	役 種	兵 種	死 亡 時 階 級 (業 職 名 稱 は 又)	氏 名	年 月 日 生	性 別
名 氏 所 住 現		理 認 した	遺 留 品 の 処 理	死 亡 事 由 (傷 病 名)	死 亡 場 所	死 亡 日 時	死 亡 区 分	発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職 域 名	固 有 通 称	細 部 所 属	地 区 局 面	役 種	兵 種	死 亡 時 階 級 (業 職 名 稱 は 又)	氏 名	年 月 日 生	性 別
統 柄 (号)		理 認 した	遺 留 品 の 処 理	死 亡 事 由 (傷 病 名)	死 亡 場 所	死 亡 日 時	死 亡 区 分	発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職 域 名	固 有 通 称	細 部 所 属	地 区 局 面	役 種	兵 種	死 亡 時 階 級 (業 職 名 稱 は 又)	氏 名	年 月 日 生	性 別
死 亡 当 時 の 状 況 及 び 参 考 資 料		理 認 した	遺 留 品 の 処 理	死 亡 事 由 (傷 病 名)	死 亡 場 所	死 亡 日 時	死 亡 区 分	発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職 域 名	固 有 通 称	細 部 所 属	地 区 局 面	役 種	兵 種	死 亡 時 階 級 (業 職 名 稱 は 又)	氏 名	年 月 日 生	性 別

現親証明書

厚生省

死亡者

死亡場所

死亡日時

死亡状況

遺泊品

年 月 日生

南洋サハ島北村ヲバコ極楽谷野 戦病院

昭和十九年七月一日 午前十時四十分

米軍の艦砲射撃のため負傷者と共に死す。

口より通り死したことを現認したのであります。

昭和三十一年十一月九日

現認者

[Redacted area containing names and signatures]

認 證 書

本籍地

現住所

戰死者名

生年月日

入隊月日

部隊名

戰死年月日

戰死場所

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

昭和拾六年

設 部隊 上員

昭和拾九年七月廿日

南洋群島不之島六ノ三ノ海岸

於自交戰中戰死

石 事實員 相違 下 下 證 認 又

證 認 者

職 名

[Redacted]

[Redacted]

46971

姓名 (及通稱)	現任 (及通稱)	現任 所屬 部 隊	入 國 年 月	官 等 級	內地 離 國 出 發 年 月 日	外地 到 着 年 月 日	備 考
姓名 (及通稱)							
現任 (及通稱)							
入 國 年 月							
官 等 級							
內地 離 國 出 發 年 月 日							
外地 到 着 年 月 日							
備 考							

死 及 者 關 係



109

軍歴

死 以 行 日 時

二三三號

查 諸 籍

兵 部 印

現任 職 任	所屬軍隊 第三 旅	入國年月 一八一七 年一月	官階級 軍 官	內地進出年月日 明治十九年三月 廿五日	職務 / 極要	發病 (受傷) 年月日 明治十九年七月 二十日	病名 (受傷部位) 傷 病 (受傷) 又 ()	死亡年月日時刻及場所 明治十九年七月二十日午後 二時三十分 島力四ノ下 砲臺 (馬約三兩頃)
--------------	-----------------	---------------------	---------------	---------------------------	---------	-------------------------------	--------------------------------	---

右 申 告 文

書 明 證 現 認 亡 死

邦・海・陸

控

資 料 提 供 者		者				亡				死							
法方たつ知を亡死		遺留品の処	遺骨及次遺骸の処理	元 (死亡事由 (傷病名))	諸 死亡場所	亡 死亡日時	死 死亡区分	発病場所	発病時期	区 分	本 露 地	(開戦時の住所 (在留地))	地名	部 隊 又 は 職 名	所 属 (所 轄)		
<p>私か軍人命に降り所に行く とまふ人が重傷個所 とまふ人が重傷個所 又帰途同地妻を通り 引人妻を重傷かつたが本人 とまふ人が重傷個所</p>				砲撃被害	不詳	昭和七年七月三十日	戦死			内			5	砲兵	第...旅団		
<p>関係のと者亡死</p> <p>知人</p>				甲	甲	甲	甲										
<p>所住現</p> <p>...</p>																	
<p>所 属 (所 轄)</p> <p>...</p>																	
<p>級 別 (名 職)</p> <p>...</p>																	
		<p>死亡当時の状況及び参考資料</p> <p>昭和七年七月三十日、不詳の場所において、砲撃被害を受け、重傷を負った。同僚の救助を受け、病院に搬送されたが、戦死した。...</p>				<p>守 留 担 当 者 名 氏</p> <p>統 柄 (母)</p>		<p>種 兵</p> <p>...</p>		<p>種 食 糧 庫</p> <p>...</p>		<p>階 階 の 時 間 (戦 時 刻 表)</p> <p>...</p>		<p>年 月 日 生</p> <p>...</p>		<p>女 男</p>	

死 亡 現 認 證 明 書

陸 海 邦

資 料 提 供 者		死 亡 者																					
死 亡 知 っ た 方 法		遺 留 品 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	元 諸 亡 事 由 (傷 病 名)	諸 死 亡 場 所	亡 死 亡 日 時	死 亡 区 分	発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職 域 名	通 称	有 固 有 部 隊 名	細 部 所 属	地 区 局 面	種 兵 種 役	死 亡 時 階 級 (軍 職 名 等)	氏 名	年 月 日 生	性 別	
保 関 の と 者 亡 死																							死 亡 事 由 (傷 病 名)
<p>サイパン島に在りし時、...</p>		<p>遺留品なし</p>	<p>遺骨及び遺骸の処理なし</p>	<p>戦死</p>	<p>サイパン島バスター海岸</p>	<p>昭和十九年七月二十八日</p>	<p>戦死</p>	<p>サイパン島バスター海岸</p>	<p>戦時</p>	<p>内地</p>	<p>サイパン島</p>	<p>サイパン島</p>	<p>第...連隊</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>
<p>同 係 人</p>		<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	
<p>現 住 所</p>		<p>死亡当時の状況及び参考資料</p> <p>比島に在りし時、昭和十九年七月二十八日、サイパン島のバスター海岸に在りし時、...</p>																					
<p>所 属 部 隊</p>		<p>...</p>																					
<p>職 域 名</p>		<p>...</p>																					
<p>級 階 氏 名</p>		<p>...</p>																					
<p>氏 名</p>		<p>...</p>																					
<p>年 月 日 生</p>		<p>...</p>																					
<p>性 別</p>		<p>...</p>																					

戰破者確證報告書

戰死者

第三三三設隊

戰地掘起

于三之島九月十三日三三三設隊隊長戰死者

戰地日時

昭和九年七月二十七日

左通、戰破確證、九事、方、即報告及御証

明仕り候也

九事、方、即報告

在証明者

九事、方、即報告

九事、方、即報告

三月廿八日

戦没者雄膏報苦書

第三三三號區隊

六〇

戦没者

戦没者

戦没者

于三ノ島マール谷ニテ敵ノ機砲彈ヲ言戦死ス
昭和九年七月二十七日午後三時頃

此通リ戦没者雄膏報苦書及御記
明仕リ候也

一九四〇年三月九日

此通明者

東京地方後援局

人事部長 殿

人事部長 殿

一、...
二、...
三、...
四、...
五、...

一、...
二、...
三、...
四、...
五、...

一、...
二、...
三、...
四、...
五、...

一、...
二、...
三、...
四、...
五、...

一、...
二、...
三、...
四、...
五、...

宣統元年...

宣統元年...

宣統元年...

宣統元年...

宣統元年...

宣統元年...

宣統元年...

軍府政務司 山崎 義吉

並駕二三兵改 官手紙本志願不念

昭和九年七月二十日

千原一島

艦隊射擊 三信即死

三信即死 有無公保流子 無

北平三月九日

北平 廣音 德

打倒北平政府 何人 事有 亦 意

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

陸軍部及各省軍政

中華民國三十三年

中華民國三十三年八月十九日

于二月九日

陸軍部運送作業中

無

陸軍部

陸軍部

陸軍部

履歴につきの証明書

本籍地

氏名

年 月 日生

昭和八年九月

会社に採用

昭和八年九月十三日

中部太平洋に向ふため横浜港去航(筑波丸)

昭和八年九月二十四日

テニヤン島着 上陸

尔后テニヤン島に於て農作(砂糖栽培)

昭和十年

自立のため大工を副業(自營)

昭和十七年

南洋テニヤン島に於て農作(砂糖栽培)

(月給をテニヤン出張所より支給されりた)

学校の規程

(興印刷)

昭和十九年六月六日

本人にテニヤン島にニヤン山が合する所には本人が
軍に属して行つた。サイパンに行くかも知れないと
去つて来た

昭和十九年七月三日

敵米軍にニヤン島上陸 (本人は当時オニ飛行場
付近)

昭和十九年七月十九日

カワリナス山の洞窟に於て生死不明戦死と推定
(確実)

右の者は私と同時に

もろく確実であることと証言しております

昭和三十三年六月二十日

会社に採用になり同社行動した

戦死者確實報告書

第三三誠信隊

テニカノ島カレトセニ山度撃隊ニ参加戦死ス

昭和十九年七月二十九日

戦死者

戦死場所

戦死日時

板橋富丸トクヲ 御報告及御証明

仕り候心

一九四六年三月二日

板橋明彦

東京地方検査局

人事部長殿

参儿批八日

戰歿者確鑿報告書

戰歿者

第三三三號

戰歿者

于三ノ島初三基冠飛行機三ノ撤彈三ノ戦死

戦歿日時

昭和十九年七月二十九日午後七時

九ノ用ノ戦死確鑿報告書及御託
明仕ノ様也

一九四六年六月九日

有野明吉

青島地方復興局

人事部長

敬

一 敬告
一 軍旅政及軍中政司
一 軍旅政及軍中政司
一 軍旅政及軍中政司

一 敬告
一 軍旅政及軍中政司
一 軍旅政及軍中政司
一 軍旅政及軍中政司

一 敬告
一 軍旅政及軍中政司
一 軍旅政及軍中政司
一 軍旅政及軍中政司

一 敬告
一 軍旅政及軍中政司
一 軍旅政及軍中政司
一 軍旅政及軍中政司

一 敬告
一 軍旅政及軍中政司
一 軍旅政及軍中政司
一 軍旅政及軍中政司

一 敬告
一 軍旅政及軍中政司
一 軍旅政及軍中政司
一 軍旅政及軍中政司

書 明 證 認 現 確 亡 死

邦 海 陸



者 供 提 料 資		者 亡 死												
法 方 た つ 知 を 亡 死		理 遺 留 品 の 処 理	骸 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	元 死 亡 事 由 (傷 病 名)	諸 死 亡 場 所	亡 死 亡 日 時	死 死 亡 区 分	発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	域 名	部 隊 又 は 職 名
本島においでなされた戦没者名簿を 確認す。				米軍艦砲強	南洋マニラ島カバリエス	昭和19年11月30日	戦死			内			五根	相模
係 関 の と 者 亡 死														
知 人 社 会 係														
所 住 現														
所 属 職 部 隊 職 名														
統 柄 (家 系)		業務課倉庫係勤務、現業員で ちよびが19年4月5根命に 了る島が戦力増強にためられた 米軍の攻撃を受け直接戦 斗に突っかかされた。19年11月30日同 島カバリエスにおいで敵弾により戦 死したことを確認した。												
(名 職) 級 階 名 氏		死亡当時の状況及び参考資料 統柄 (家系)												
年 月 日 生		名 氏 住 所 姓 名 氏 名 年 月 日 生 女 1												



現認証明書

本籍地

死亡當時

氏名及続柄

職業

氏名性別
生年月日

[Redacted]

南洋群島ニアニ島

戸主

耕作者

[Redacted]

女

[Redacted] 年 [Redacted] 月 [Redacted] 日生

右、者昭和拾九年八月参日 午前 拾時 分 艦 砲

ニ因リ死亡セル所現認証明ハ當時本人ト行動ヲ共ニシ右ノ

事實ニ誤ナキコトヲ現認ス

昭和三十三年九月十七日

本籍地

現住所

職業

右現認証明人氏名

[Redacted] 年 [Redacted] 月 [Redacted] 日生



本字付系本ニ相違ナリニシテ証明ナリ
鹿児島県民部部長



鹿児島県世話課

No 1157

元海軍軍属未復員者調査票

連絡番号	及派は遣元名	身分	氏名	生年月日	(現) 籍 住 所 地
	茅	工員	[Redacted]	[Redacted]	縣 [Redacted] 市郡 [Redacted] 村字 [Redacted]
	留守担当者	続柄	氏名	現 住 所	
	茅		[Redacted]	縣 [Redacted] 市郡 [Redacted] 村字 [Redacted]	

家族の承知されている情況

職名 司政官、船長、世配、技 等の別を記入して下さい 工員	内地出身年月日、場 所、乗船名、行先がわ らかたまたまなら書いて 下さい	家族承知に人知なきに 昭和19年頃、渡航した
志願、徵用、現地探 用の別を記入して下さい 採用	家族受領の情況と 取扱っている経理部 を書いて下さい	/
採用又は徵用年月日 及部隊名 (艦員は船名及艦主) 昭和19年4月、桐岡 第四軍艦司令部	一 艦長から何か 知がありましたか 二 隊長から何か 知がありましたか 三 同僚者から何か 知がありましたか 四 共の他のところか ら何か通知があり ましたか 以上ありましたら、 氏名を記入して下さい	同部 [Redacted] (当時身元) 職 元とらふ可なり
場外勤務の部隊名及 場所 第四軍艦司令部 (イバ)	本人からの最後の手 紙に就いて御記入下 さい 差出日附 (年 月 日) 部隊符號 () 受領年月日 (年 月 日) 検閲者印 () 内容	其の他本人に就いて 参考になることを書 いて下さい

歸還者からの情報 (歸還者の方は本欄に未處理者個人に對すること、 自分の属していた部隊の情報を記入して下さい)

未處理者個人に對する情報 情報提供者 四野 野守一 [Redacted] 同右 現住所 [Redacted]	歸還者の属していた部隊の情報 この欄には所属部隊の行動、戦況 (艦船事故ならその状 況) を詳しく書いて下さい (特に場所、年月日を洩らさない様にして下さい) 本人は昭和19年4月 [Redacted] に入隊 し、6月初旬に前線の部隊へ、自衛と採用され、 給食明、食糧、洗濯事務を担当した。 6月7日米軍機が上空より三度と襲撃を受け、 けつ、建艦と米軍機が上空より三度と襲撃を受け、 山は後退、六月七日頃バブルに帰還、七月廿 頃バブル山において艦を近海に沈没させ、 爆死して、死体は海に投げられ、生かされず、 一周前後の八月廿日迄に沈没した。 同部 [Redacted] (死体報告) 同部 [Redacted] (死体報告) 昭和19年、採用、生計、計、時、死、死、死、 相違有り可なり
本人とは何時で何時 にか、何と別れる時、 本人の状況はどうか、 本人に記入して下さい	本人が四野 [Redacted] に入隊 し、6月初旬に前線の部隊へ、 給食明、食糧、洗濯事務を担当した。 6月7日米軍機が上空より三度と襲撃を受け、 けつ、建艦と米軍機が上空より三度と襲撃を受け、 山は後退、六月七日頃バブルに帰還、七月廿 頃バブル山において艦を近海に沈没させ、 爆死して、死体は海に投げられ、生かされず、 一周前後の八月廿日迄に沈没した。 同部 [Redacted] (死体報告) 同部 [Redacted] (死体報告) 昭和19年、採用、生計、計、時、死、死、死、 相違有り可なり
戦死者でしたらその 状況を本欄に記入し して下さい (死亡か病死なら病 名を記入して下さい)	死 因 死亡年月日 死亡の場所 状況 昭和19年 [Redacted] 4月 [Redacted] [Redacted] 山中
行方不明ならばその 状況を記入して下さい	原 因 年 月 日 場 所
他に本人の消息をよ り知る方が住所氏名を 記入して下さい	[Redacted] (野守一) (三野勤務)

43880

本籍地
元
姓
名
加
吉

現任所
同

所屬部隊
第四號輸送艦

入隊日
昭和八年八月十日

階級
現
後
兵
科

入隊場所
水
入所番號
昭和九年七月十九日
横須賀港 疏賣島

同隊人員
昭和九年八月四日 瑞穂 野村 貞
同隊人員
昭和九年八月四日 瑞穂 野村 貞

職務
要
高野 瑞穂 前部 第一番隊員 瑞穂 野村 貞 瑞穂 野村 貞
瑞穂 野村 貞 瑞穂 野村 貞 瑞穂 野村 貞 瑞穂 野村 貞

任職年月日
昭和十九年八月四日

現任所
腹朝 瑞穂 野村 貞

本籍地
元
姓
名
加
吉

現任所
同

所屬部隊
第四號輸送艦

入隊日
昭和十九年八月四日 一三三〇 瑞穂 野村 貞

階級
現
後
兵
科

理任所局			
所屬部隊	第四師團	官年	一水
氏名	[Redacted]	入部	[Redacted]

備考

- (一) 本圖書、何所書スハ、既テ新報者ニテ、本圖書内ノ下等長尾通船スルニ、其書在右ニ
加テ知得シラノスト記スルモノナリ。行部書ス
- (二) 兵部在籍ノ行部士官世ニ即下中尉夫ニ任部書ス
- (三) 同府籍人、勿働作爲身有ニ、進イタモ記部書ス
- (四) 知得シラレ範圍ニ、加テ其身レ限リ、詳細ニ記部書ス
- (五) 他人ヨリタテテ承知シラレ事柄、若シ其類ニ、相テオウ記部書ス

軍人現況不明者調書

(一)	部隊長から何か通知があつたか	内地出發年月日、場所、乗船名(又は航空機)行先	昭二九・二・二五 加取航空基地ヨリ南方へ	本人からの最後の通信 信 空襲被害の報告	差出日附() 部隊符號() 受領年月日() 検閲者印()	差出日附() 部隊符號() 受領年月日() 検閲者印()	家族の承知してゐる情況	留守擔當者 氏名	所 (辭令年月日)	等級 氏名	生年月日	入籍番號	本 現 住 所 (地)
(二)	本人とは何處で何時迄一絡だつたか	其の時の本人の情況	昭二九年八月十日南洋群島方面ニ於テ戦友は斃死せり せり戦友なり 部 隊	同右現住所	提供年月日	情報提供者	歸還者からの情報	氏名	所 (地)	本 現 住 所 (地)	入籍番號	本 現 住 所 (地)	
(三)	戦死 年月日 場所	戦死 年月日 場所	戦死 年月日 場所	同右現住所	提供年月日	情報提供者	歸還者からの情報	氏名	所 (地)	本 現 住 所 (地)	入籍番號	本 現 住 所 (地)	

5711

<p>資料及所見</p>	<p>世話</p>	<p>其の他究明上参考となるべき事項</p>	<p>家族波受領の情况及取扱経理部</p>	<p>(二) 時通者から何か通知があつたか (三) 其の他のところから何か通知があつたか (右通知した人の住所氏名)</p>														
<p>20 4 24</p>	<p>20 4 24</p>	<p>其の他究明上参考となるべき事項</p>	<p>昭和二十一年八月一日又は其の後に未復員船を出したか出してなければその理由</p>	<p>届ナシ 其後にはなし</p>														
<p>6063 20 4 24</p>		<p>本人の消息をよくしつてゐると思はれる者の住所氏名</p>	<p>息消の本人の後の</p> <table border="1"> <tr> <td>ばらな</td> <td>隊犯</td> <td>作服</td> <td>ばらな</td> <td>者明不</td> <td>方行逃</td> <td>ばら</td> </tr> <tr> <td>等の推定</td> <td>所收客場</td> <td>月日</td> <td>等の推定</td> <td>所生の場</td> <td>事故年月日</td> <td>等</td> </tr> </table>	ばらな	隊犯	作服	ばらな	者明不	方行逃	ばら	等の推定	所收客場	月日	等の推定	所生の場	事故年月日	等	<p>其の他究明上参考となるべき事項</p>
ばらな	隊犯	作服	ばらな	者明不	方行逃	ばら												
等の推定	所收客場	月日	等の推定	所生の場	事故年月日	等												

57-12

書 明 證 認 現 確 亡 死

邦 陸

寫

資 料 提 供 者 死 亡 知 づ け 方 法		者		亡		死		開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)		所 属 (所 轄) 部 隊 又 は 職		固 有 通 称	
		遺 留 品 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	元 (死 亡 事 由 (傷 病 名))	諸 死 亡 場 所	亡 死 亡 日 時	死 死 亡 区 分	死 病 場 所	死 病 時 期	区 分	本 籍 地	南洋群島 五根	
				貫通銃創を蒙り即死	南洋群島ヤロリイ支地	昭和十九年八月十五日午前六時	戦死			内		南洋群島 五根	
死 亡 者 と の 関 係		友 人										細 部 所 属	
現 住 所												地 区 局 面 南洋群島 ヤロリイ支地	
所 属 (所 轄) 部 隊 職 名												種 兵 種 役 重 属	
死 亡 時 刻 (死 時 刻 名 義 又 は 職 名 義)												死 亡 時 刻 戦死	
守 留 担 当 者 名 氏 所 住 現												統 柄 氏 名	
死 亡 当 時 の 状 況 及 び 参 考 資 料												年 月 日 生	
												女 男	

昭和十九年八月十五日未明米軍陸戦隊の包圍攻撃を受け、ため、イエアン島守備隊と協力、交戦中、胸部に貫通銃創を蒙り即死す。

現認證明書

本籍地

死亡時

位所

氏名性別

生年月日

戸主氏名

及続柄

職業

死亡場所

右之者昭和十九年八月廿三日午後二時半頃米軍艦砲に因り死亡
せる所現認証明は当時本人と行跡を共にし右の事實に誤り
なき事を証明致します

昭和二十九年七月十七日

右現認者

本籍地

前住地

海軍少尉

南洋群島大宮島北村

男

本人

徳

元海軍少人現況不明者調書

徳島縣世話課第六復員係

徳島縣世話課第六復員係

番號	階級	氏名	生	死	入籍	籍	地
43	二水	[REDACTED]	昭和三年	昭和三年	入籍	本籍	徳島

お尋ねする 事柄

返事を答へて戴く所

昭和三十九年四月五日

昭和三十九年四月一日

昭和三十九年四月一日

昭和三十九年四月一日

昭和三十九年四月一日

昭和三十九年四月一日

昭和三十九年四月一日

昭和三十九年四月一日

昭和三十九年四月一日

昭和三十九年四月一日

昭和三十九年四月一日

昭和三十九年四月一日

昭和三十九年四月一日

昭和三十九年四月一日

青森縣大湊海軍警備隊長付
日職丸

92-15

右島津を討つに足らぬ人の数
名別し五百以下に
○

徳川後援の島津の兵隊の又
島津の兵隊の又
島津の兵隊の又
島津の兵隊の又
島津の兵隊の又

御家人の御命を安んずるに
かゝりては、所々を以て来て居る事か

御返事を
本 籍 地

現在 住 所

御返事を
御返事を
御返事を

世評録入手資料及所見
五世調査書内

昭和三十九年九月
下島津の島津重豪
島津重豪の島津重豪

22/10
島津重豪の島津重豪

保康銀員向金部
島津重豪の島津重豪

四五回 保康銀員局
島津重豪の島津重豪

何れ有りませぬか

島津重豪の島津重豪
島津重豪の島津重豪

右の同ジ

島津重豪の島津重豪
島津重豪の島津重豪

の提供に依り
19.8.15日 千島梅江の戦死

下再四会

12/11

(海) 豊田

字

死亡現認(確認)證明書

○裏面記載上の注意を見て書いて下さい。

資料提供者		死者の資料							無有の届	
死に及つた方法		遺留品	遺骸の処理	死亡諸元				現留守担當者	本籍地	除部區所 縣通有
同一作業隊あり 現認				死亡區分	發病時	傷病名	死亡場所			
関係の本人		なし	なし	死	なし	爆死(受傷割合不明)	昭和十九年八月七日 九二〇分	南津島飛行場	昭和十九年八月七日 九二〇分	除部區所 縣通有
除部區所		所住現		※	※	※	※	※	※	除部區所 縣通有
職官氏名		職官氏名		(死亡時状況)				職官氏名		除部區所 縣通有
[Redacted]		[Redacted]		南方司令部 中隊指揮の と日本軍飛行場の爆撃 跡の穴埋整地作業に従事 中更に敵機の襲撃を受け、 加之に五機爆死した				[Redacted]		除部區所 縣通有
職官氏名		職官氏名		[Redacted]				職官氏名		除部區所 縣通有
[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]				[Redacted]		除部區所 縣通有

昭和 年 月 日

大典堂精

陸・海・邦 死亡現認證明書

寫

資料提供者		死者												
死亡通知方法		遺留品の処	遺骨及び遺骸の処理	元(死亡事由(傷病名))	諸(死亡場所)	亡(死亡日時)	死(死亡区分)	発病場所	発病時期	区分	本籍地	開戦時の住所(在留地)	所屬(所轄)部隊又は職	通有固
同取場ニありて空襲時同行し戦死したことを現認した		なし	死体を収容する余裕が有りたので有りませぬ	左胸部貫通銃創	サイパン島ヤラニカ	昭和十九年七月五日五時頃	* 戦死			内			五根	五根
死亡者との関係														
同郷の友人														
所屬	部隊	職	現住所											
従業員														
(名職) 氏名		死亡当時の状況及び参考資料												
		昭和三年八月五日山崎丸にて本名と同様に渡航し同取場は勤務して居たが昭和十五年六月十三日頃敵米軍がサイパン島に上陸し未昼夜の間に連日艦砲射撃及び空襲を繰り返したため地方に避難を開始し七月五日午後三時頃銃掃射を受け胸部貫通のため戦死したことを現認した。												
		種兵	種役	留守担当者										
			軍属	統柄(長姉)										
		死亡時の状況及び参考資料												
		昭和三年八月五日山崎丸にて本名と同様に渡航し同取場は勤務して居たが昭和十五年六月十三日頃敵米軍がサイパン島に上陸し未昼夜の間に連日艦砲射撃及び空襲を繰り返したため地方に避難を開始し七月五日午後三時頃銃掃射を受け胸部貫通のため戦死したことを現認した。												
		名	氏	死										
		年	月	日										
		日生												
		女	男											

裏面記載上の注意を見ておいて下さい。(※及び裏面の各欄は記載に及びません)

寫

第一號

生年者 戰歿者 確認報告

報告者：當時所獲部隊名 第四十五警備隊

報告者：中隊長名 菅原重雄

報告者：本籍地及現住所

所居者職名	姓名	出生地	生年	戦死年月日	戦死場所	戦死状況
軍曹	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	戦死 八月十八日	東方海面	戦死状況

清瀬村

報告者：菅原重雄、第四十五警備隊中隊長、本籍地：大阪府大阪市、現住所：大阪府大阪市。戦死年月日：八月十八日、戦死場所：東方海面、戦死状況：戦死。報告者：菅原重雄、第四十五警備隊中隊長、本籍地：大阪府大阪市、現住所：大阪府大阪市。戦死年月日：八月十八日、戦死場所：東方海面、戦死状況：戦死。

警察廳 警務部 警務課 警務科

6104

3/5/70

書 明 證 認 現 確 亡 死

邦

資 料 提 供 者		者				亡		死				
法方たつ知を亡死		遺留品の処	遺骨及び遺骸の処理	元(死亡事由(傷病名))	諸(死亡場所)	亡(死亡日時)	死(死亡区分)	発病場所	発病時期	区 分	本 籍 地	(開戦時の住所(在留地))
				受 傷 部 位 不 詳	マリアナ諸島マニラ島	昭和十九年八月一日	戦 争			内		
係関のと者亡死		從 兄										
所 住 現	職 部 所 域 隊 轄 属	容										
		田										
者 当 担 守 留		統 柄 (氏)										
死亡当時の状況及び参考資料		昭和十七年一月朝鮮王宮島在住の從兄を頼りて、同年五月に技術修得のため専修学校に入學し、同年七月南洋方面の大規模空襲に際し、専修学校の學生として軍に動員された。昭和十九年八月一日午後一時頃、マニラ島の小澤基地上空に於て敵機銃弾のために戦死したとあり、										
(名職) 級 階 氏 名		農 務 指 導 員										
		女										

書 明 證 認 理 確 亡 死

邦・海・陸

資 料 提 供 者		者 亡 死													
死 亡 知 方 法		遺留品の処 理	遺骨及火 葬の処理	元 死 事 由 (傷病名)	諸 死 亡 場 所	亡 死 亡 日 時	死 死 亡 区 分	発 病 場 所	発 病 時 期	区 分	本 籍 地	開 戦 時 の 住 所 (在 留 地)	地名	固 有 名 姓 又 は 職 名	通 稱
特許高野をうけた 特許勤王共のりた															
係 関 の と 者 亡 死		知 人										地 区 局 面		部 所 細	
所 住 現		[Redacted]										[Redacted]		[Redacted]	
所 属 部 隊 職 域		[Redacted]										種 兵 種 役		種 兵 種 役	
名 氏		[Redacted]										死 亡 時 刻 階 級 (又 は 職 名 職 階)		[Redacted]	
名 氏		[Redacted]										統 柄 名		[Redacted]	
名 氏		[Redacted]										死亡当時の状況及び参考資料		[Redacted]	
名 氏		[Redacted]										年 月 日 生		[Redacted]	
名 氏		[Redacted]										女 男		[Redacted]	

68199

(別添第一)

何人消 嘉治 明治

昭和二十三年 二月 九日

資料提供

生

現況不明未歸還者指 届謝事

氏名	住所
九。一。定	[Redacted]

所 跡 名

寺 藏 氏

名 又 は 八 本

行方不明 日 又 救 地 延 延 既 の 状 況

九二五

昭和二十三年 二月 九日

公恩月
19

右之者ハ昭和十六年十月九日應召來和上行動ヲ共ニシテ者アリ

六月廿日二十時早四分現乘艦永興丸が東経九十度北一五度五十九分ニ

受ケ沈没多ク機性者ヲ五トクガ幸ニシテ一命ヲ免レ其後共ニ當時ノ昭和長等十

特別機隊隊手殘存艦隊中是人等部ヨリ相模野海軍航空隊之若手

艦隊機隊機長トト入校者ト命ニ依リ五月十日昭和南夜(愛知)機隊機長

ニ便乘内地向ケ歸還中九月十五日三時三十分頃南島沖に敵潜水艦撃テ

乗ケ沈没不能ト者〇七。復沈没ヨリ其時機長ニ命死ス者ナリ。私ハ相模野

航空隊ヨリ人等部へ御報告ヲ為シ思フ所アリ

私知リ所ナリ

此ニ江ノ現況不明者多シ様々ガ若上知リ所ナリハ答へ致シスカラシ

御照管下さい又場合ニ依リハ出頭致シテ知リ所ナリハ答へ致シス

ト思フ所アリ

註一) 門改叙又は行方不明年月日及びその前所又は地城等查明後に記載しておられない場合は

は推定せよと記載せよあるが有妨にて記註していただく

海軍を以てはあないが抑大軍を以ては知知事項であつても必ず記註していただく

同との名海軍職者以外でも戦後公設米所者を以て存亡の状は追記して下さい

此ノ簡章ヲ分リヌガ御報告中ニ入

軍 屬 現 況 不 明 者 調 書

不登

整理番号 168	派遣元團又は船名 丸 祐亀丸	身分 操艇手	氏名 [Redacted]	生年月日 [Redacted]	現住所 [Redacted]
留守担当者	氏名 [Redacted]	氏名 [Redacted]	氏名 妻	現住所 [Redacted]	現住所 [Redacted]

103

家族の承知してゐる情況	締造者からの情報
職名 甲工役、甲板員等 甲板員等 甲 板 員	提供年月日 昭和二十一年七月 日
用志、徴用、現地採用の別	情報提供者 [Redacted]
採用又は徴用年月日 及部隊名 (船員は船名及船主)	同右現住所
内地出発年月日、場 所、乗船名(又は航 空機)行先	(一) 本人とは 何時どこで たか
外地勤務の部隊名及 場所	(二) その時の 人の状
本人からの最後の通 信	(三) 同部隊名
(一) 部隊長から何か 通知があつたか	戦 死 因 死 年 月 日
(二) 歸還者から何か 通知があつたか	な ら ば 等 の 状 況
(三) 其の他のところ から何か通知があつたか (左通知した人の 住所氏名)	行 方 不 明 者 の 推 定 場 所 日 因
昭和二十一年八月一 日又は其の後に未復 出用を出したか其の 理由	作 業 犯 罪 の 推 定 場 所 日 因
家族連受領の情況及 取扱経理部	本人の消息をよく 知つてゐると思は れる者の住所氏名
其他究明上参考と なるべき事項	其の他究明上参考 となるべき事項
世話課(科)	
資料及所見	
佐人氏料	

甲板員

徴用

西丸九号 丹波
祐亀丸

昭和二十一年五月五日

差出日附(昭和二十一年五月五日)
部隊符號(水兵部)
受領年月日(昭和二十一年五月五日)
檢閲者印
内容 面会通不

教の船長と連絡國家
の階級は上等乗組員とあり

提出す

有正の給料を受取り
佐子信長復員局経理部

乗組員沈没後救助すれども戦後疎に詳かたはら
マリアに四枚あり 戦中病死せしと云ふ

本人は佐世保より乗船沈没
す一諸君に
本会乗船沈没後救助すれ
マリアに四枚ありと云ふ

乗船沈没昭和二十一年八月
十日
印度洋

乗組員沈没後救助すれども戦後疎に詳かたはら
マリアに四枚あり 戦中病死せしと云ふ

6110

正 佐 子 信 長

軍屬戰死者ノ件報告
所屬第三師團司令部

戰歿日時

戰歿場所

戰歿状況

遺骨遺品ノ有無及保管者

参考事項

昭和三十二年四月五日

舞鶴地方復興局人事部長 殿

報告者 氏名

[Redacted]

昭和十九年九月三十日

第三師團南支隊第三師團

洞窟ニ避難中電氣ノ欠ニ洞窟内燈火ノ燃死ス

氏名 [Redacted] 日付 [Redacted]

軍 邦 関係がき資料通報

軍 邦

案部 担任 地区 区分

A 資料提供者		B 未 帰 還 者 報 告				
詳細な本人との関係	詳細な状況	場所	時期	所属部隊(艦城又は住所)	備 考	
知人	カボリナス爆死した(空爆カ艦砲が不明)	カボリナス	昭和19年9月頃日		有 無 役種(現存) 兵 種(種類) 階 級(階名) 氏 名	
所属(現住所)		甲 乙 丙 西 西	甲 乙 西 西	甲 乙	氏 名	
階 級(階名)		甲 乙 丙	甲 乙 丙	留守定本籍		
氏 名			流 妻	甲 乙	甲 乙	
本 籍				日 生 甲 乙	日 生 甲 乙	
				甲 乙	甲 乙	
C 所見						

索引 有 無 済

戦

△

中

収

番号

新編地方世話部第二復員課
第二五二號

山形 地方世話部第二復員課

生存者 戰死者 確認報告

三月十日 茂村

人事部長

甲長

報告者ノ本籍地及ヒ現住所	報告者ノ官職氏名 (電報符號)	報告者ノ當時ノ所轄 (部隊名)	生存者 確認報告	戰死者 年月日	戦況	戦況	戦況	戦況	戦況	戦況	戦況	戦況	戦況	戦況	戦況	戦況	戦況	戦況	戦況	戦況
[Redacted]	[Redacted]	五服 (五十五放言)	一 當	戦況 一九九〇	戦況 ノイハコ	戦況 ノイハコ	戦況 ノイハコ	戦況 ノイハコ	戦況 ノイハコ	戦況 ノイハコ	戦況 ノイハコ	戦況 ノイハコ	戦況 ノイハコ	戦況 ノイハコ	戦況 ノイハコ	戦況 ノイハコ	戦況 ノイハコ	戦況 ノイハコ	戦況 ノイハコ	戦況 ノイハコ



46/2

取及者前也

本籍地	现住所	所属部隊	入國年月	官等	内地滞留年限年月日	取他到滞年月日	勤務ノ概要	被刑(受罰)年月日	病名(受傷部位)	疾病(要領)
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	海軍少尉	[Redacted]	[Redacted]	吳海軍 満蒙丸	昭和七年九月至九月	全身火傷	又(取死)

130

死亡年月日
 昭和...年...月...日
 右申告ス

昭和...年...月...日

本籍	現住所	所屬部隊	氏名
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
官階	入籍番號	[Redacted]	
少佐		[Redacted]	

備考

一 本調査ハ部隊長又ハ副隊長等々其地方長員局人事課長宛通報スル中
 責任者ニ於テ知得シアラズ 因ムルモノノミセ付記載ス
 二 吳鎮在籍ノ特務士官補士官、下士官兵口付記載ス
 三 同隊人ハ勿論他隊出身者ニ就テモ記載ス
 四 知得シアル範圍ニ於テ出来得ル限り詳細ニ記載ス
 五 他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各該部隊ニ相手方ヲ記載ス

22332

80474

死 歿 者 調 書

宮崎縣

本籍地	現住所	所属部隊	入国年月日	等 級	内地派遣出発年月日	外地到着年月日	病名又は受傷部	病名又は受傷部	死 亡 年 月 日	死 亡 場 所
[Redacted]	[Redacted]	六六製	一九一八年十一月	水長					昭和九年十一月	死 亡 場 所
					九年	内地到着年月日				死 亡 場 所
					現 役					死 亡 場 所
					入 籍					死 亡 場 所

元 榮

1334/19

右の通り余和とあり下五の事等一とす

昭和十六年六月二十七日

申告者		入籍番號	等級	代名
現住所	本籍地			
所属部隊				
	右 同			
	六十六警備隊			

備考

- 一 本調書は死者の身上関係一切を處理するものとするが、慎重に且詳細に記入し下す
- 二 他人の聞知承知した事項は其の首末尾の餘日記に入し下す

證 明 書

本籍

戸主

長男

右之者昭和十九年十月十日沖繩島那覇港ニ於テ

戦死シタル者ニ相違無之此段證明仕候也

昭和二十一年九月七日

第十四團 安石

部長

海軍

266

死役者調書

本籍地

現住所

所属部隊

入團年月 昭和二年

官等級 一曹

戦地到着年月日

勤務概要

發病受傷年月日

病名(受傷部位)

戦時状況

戦場所

昭和十九年十月十日

基隆島地方二十五里

昭和十九年十月十日

本籍地	現住所	所属部隊	入團年月	官等級	戦地到着年月日	勤務概要	發病受傷年月日	病名(受傷部位)	戦時状況	戦場所	昭和十九年十月十日	基隆島地方二十五里	昭和十九年十月十日
		イ 第六百零二部附五三船舶防空隊 (部隊)	昭和二年	一曹	昭和十九年四月上旬内地	昭和十九年四月上旬台湾高雄着 自高雄進下部隊、基地上。主として南支那海海上輸送 船舶に乘組して防衛任務に當る。氏、昭和十九年 十月十日才田島津中基隆島地方二十五里、軍上。中 隊に於て戦死す。	十月十日	戦時状況	戦場所	昭和十九年十月十日	基隆島地方二十五里	昭和十九年十月十日	基隆島地方二十五里

昭和三年三月十五日

本籍地	
現住所	
所屬部隊	第一師司令部第五二號團官
氏名	入籍番號
	上等七曹

備考
 一 本調書六部隊長又...
 二 兵鎮在籍...
 三 同府縣人...
 四 知得...
 五 他人...
 六 復員局人...
 七 軍官...
 八 軍兵...
 九 軍人...
 十 軍人...
 十一 軍人...
 十二 軍人...
 十三 軍人...
 十四 軍人...
 十五 軍人...
 十六 軍人...
 十七 軍人...
 十八 軍人...
 十九 軍人...
 二十 軍人...

(昭和52年3月1日特種選抜第1-376号をもって送付)

現認証明書

高...

[Redacted]

旧名

[Redacted]

19-7/相国入国、同行勤者
外2.14 鹿島止陸
整長 北台空

[Redacted]

昭和19年10月^{18日}空襲を受け、実際

[Redacted] は上官の命令により

新竹市に行って帰る時、飛行場で

死亡、翌日部隊長から [Redacted] が爆死

したので全員 気をつけるようにとの

訓示を受けた。

死亡諸元

昭和19年10月18日 台湾、新竹州新竹市において
敵機^の攻撃を受けて戦死(受傷状況不詳)

合

合

合

欄

(註)

(一) 本表は地方復員業務處理部復員業務課履歴宛必ず送と下
(二) 知得事項は推定とし結構手から細大となく洩れなく記註と下
(三) 消息は確認しなから他人から得た知得事項は必ず記註と下

人	本	復	員	合
地	及	所	接	部
日		先		
省				
有				
有				
有				
有				
無				
無				
無				
無				

本
現注

佐右保局氣研行二二九六

右同

國年月日

昭和八年十月五日

官等級

一等九号

兵種水兵

因是清去後年

昭和十八年五月十六日

葉紫丸便乘吳林

戰死前年日

昭和十九年一月一日

同艦三號

勤務の状況

病名

昭和十九年六月十日

病名

三日

赤痢

病名

昭和十九年十月十日

病名

病院中(橋立丸)

石

46576

死者調書

地所

部隊

昭和二十一年八月一日

殺種

天

氏名

生年月日

昭和二十一年八月一日

兵

勤務概要

受傷年月日

受傷部位

受傷状況

昭和二十一年八月一日

甲種

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

吳中書

昭和二十一年一月一日

籍地	現任所	官等級	備考
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
氏名	[Redacted]	官等級	備考
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

備考

本調査部隊長又ハ殘務取扱者等ニ於テ吳地方復員局人事部長宛通報ニ非テハ認ムルモノニ付記載ス
 吳鎮在籍者、持務官官准主臣、下士官吳ニ付記載ス
 同村縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テハ記載ス
 知得ル範圍ニ於テ未得ル限、詳細記載ス
 他人より聞キテ承知スル事項ハ各管該欄ニ相手方ヲ記載ス
 此ハ先

吳中

吳地方復員局人事部長宛

488-10

死歿者調書

45000

<p>籍地 現住地</p>	<p>同上</p>	<p>屬部</p>	<p>吳海寺回里區大和</p>	<p>入團年月</p>	<p>昭和十八年十一月</p>	<p>等級</p>	<p>一等 兵</p>	<p>同進隊</p>	<p>不明</p>	<p>此地到着年月日</p>	<p>不明</p>	<p>勤務概要</p>	<p>不明 昭和十九年十一月 上等夜間号</p>	<p>發病(受傷)年月日</p>	<p>不明</p>	<p>病名(受傷部位)</p>	<p>不明</p>	<p>戦没時状況</p>	<p>不明</p>	<p>此年月日特別及場所</p>	<p>昭和十九年十一月</p>
-------------------	-----------	-----------	-----------------	-------------	-----------------	-----------	-----------------	------------	-----------	----------------	-----------	-------------	----------------------------------	------------------	-----------	-----------------	-----------	--------------	-----------	------------------	-----------------

石市告ス

昭和三年五月四日

氏名	所屬部隊	本籍地	現住所	階級	入籍番號
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	口上	二等	海軍水兵
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

備考

- (一) 本調査は部隊長又は職務取扱者等により於て吳地方護国軍人本部に於て通報せられたる者のうちのみを以て記載するものとす。
- (二) 吳鎮在の職務の特務士官准士官下士官等には記載せらる。
- (三) 同府縣人は勿論は府縣出身者についても記載のこと。
- (四) 知得しる者の範囲を出来限り詳細に記載すること。
- (五) 他人の關する承知し得る事項は各當該欄に相手方を記載すること。
- (六) 送付先

吳軍本部
吳地方護国軍人本部部長宛

#2764

卒 備 地	任 所	所 屬 部 隊	入 國 年 月	官 等 級	內地 港 灣 出 發 年 月 日	心 地 到 期 年 月 日	功 勞 、 候 要	受 傷 、 受 傷 一 年 月 日	各 一 受 傷 部 位
[REDACTED]	在 三 同 三	三 三 三 五 八 部 隊 機 留 在 身 隊 [REDACTED]	昭 和 十 八 年 四 月 三 日	上 等 水 兵	昭 和 十 九 年 [REDACTED]	昭 和 十 九 年 [REDACTED]	昭 和 十 九 年 [REDACTED]	昭 和 十 九 年 十 月 末 五 級	金 身 大 傷
[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	兵 三 水 兵	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]

死
機
者
機
事

#2764

金澤第一一號ノ九八

昭和二十一年二月二十七日

金澤地方復員人事部部員

舞鶴地方復員局人事部部員殿

戰病死者ノ件通知

左記ノ者ノ死歿状況ニ關シ別紙ノ通り判明致候條至急諸手續相成度

追而本件八月二十四日貴部
官補出張ノ際調査依頼定上ヨリ吉部ニ

於テ復員者ニ付詳細彙集ノ上回答ヲ得度旨二月四日附通知有ルルマ

ノ二付

記

故海軍上等水兵

本籍地

(別紙添)

21

119

別紙

一、發病

昭和十九年十月十日頃ヨリ全身浮腫出デ氣分悪ク十月二日夕刻ヨリ特ニ悪化シ四十一警備軍医官ニ受診入室ヲ命ゼレ既ニ言語明瞭ナラズ

二、死亡

昭和十九年十一月三日〇六〇。頃兵舎ヨリ病室へ車ニテ運ブ途中死亡（軍医官、病名等不詳）

三、右報告者

元二曹

四、故人ト入團以來行動ヲ共ニセル右報告者ノ履歴表次ノ如シ

年月日	摘要	所屬
十八、十一	臨時召集ノ令ニシテ毒鴉隊兵團ニ入團海軍兵務編入	毒鴉隊兵團
〃	海軍ニ奉水兵ノ命ヲ即日充員召集	〃
十二、十七	席（補充部附）補	〃

十二七	一馬九。二室附ヲ命ズ	陸柳九部
十九、一八	宮崎凡便乘十八、十九、二十、二十一機復資發	九〇二空
	十八、十九、二十、二十一トラフヲ著十九、一八入隊	
二十六	海軍一等水兵ヲ命ズ	九〇二空
十八、十九、二十、二十一	南洋群島方面戰務甲(加算率三月)	
十九、一八、一	一時第四土管備隊附ヲ命ズ(即日第四艦隊水 上機隊、假入隊)	
八十九	假入隊中、屢復歸入隊	第四土管
十一一	海軍上等水兵ヲ命ズ	

右並同(行動、十一月三日迄七)

五、中隊長 [redacted] 大尉 [redacted] 公身
 小隊長 [redacted] 少尉 [redacted]
 班長 [redacted] 兵曹長 [redacted]

六、故人ノ配置(報告者ニ依リ)

一、自十九年八月九日二空 交通艇員

二、自十九年九月 四十(警)爆彈攻撃隊員

終

120-10

240

整理番號 71909

元海軍軍人現況不明者調書

部隊	所屬部隊に關するもの 一、編成の時期及び場所(昭 年 月 日 於) 二、内地出撃の時期及び場所(昭 年 月 日) 三、進出要領	報告者 昭和 二十年四月十五日	情報 内地歸還年月日	既知事項 一、佐世保人事業務調査資料 二、世話課(科)資料 三、家族(身寄)承知事項	留守擔當者	所轄(辭令年月日) 三隻隊	等級	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	
		二隻隊	少尉	三、一九一九三	兄	氏名	縣	市郡	住	村大字	所	
現況不明者個人に關するもの 一、本人とは何時にいつか 二、その時の本		これ以上に詳細且つ正確な情報があるときは別紙に記載のこと		一、(イ)遺骨有無(尸身)煙土根(ロ)遺留品有無 三、一九一九三	是	戰没(逃)行方不明(亡)の場所 戰没(逃)行方不明(亡)年月日 戰没(逃)行方不明(亡)の原因 戰没(逃)行方不明(亡)時編入 されていた戦半部隊名	昭和十九年一月二日 至昭和十九年十一月五日					

2
2
32

三三三三三三三三

信世保地...

三月五日送本

死歿者調書

三三三三三三三三

本籍地	現住所	所属部隊	入国年月	官等級	軍属	内地渡出年月日	戦地到着年月日	勤務概要
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

〇〇〇〇

死亡年月日特別登載昭和九年十月十日〇〇〇〇

カニヨル北洋三丁邊

右申告又
昭和三年三月五日

本籍地	[Redacted]	官等級	／
現住所	右	入籍會費	／
所屬部隊	新英丸		
氏名	[Redacted]		

備考

一 本調書、部隊長又ハ業務取扱者等、兵地方後、兵隊人率、並、長、免、通、限、又ハ、中、身、任、者、ニ、於、テ、知、得、シ、テ、ス、ト、認、ル、ル、モ、ノ、ニ、付、記、載、ス、

二 兵、籍、在、籍、特、務、主、官、准、主、官、下、工、官、兵、ニ、付、完、成、ス、

三 同、府、縣、人、均、論、他、府、縣、出、身、者、之、就、主、毛、記、載、ス、

四 知、得、シ、ル、範、圍、外、ニ、出、表、得、ル、限、リ、詳、細、ニ、記、載、ス、

五 他、人、ノ、聞、知、ヲ、承、知、シ、ル、事、項、各、當、該、欄、手、可、キ、記、載、ス、

多志公報 発行セラレタリ

復員特許の所轄(部隊)

標

位	等	復員特許の所轄(部隊)	復員特許の所轄(部隊)	復員特許の所轄(部隊)	復員特許の所轄(部隊)
所	海軍少尉	新	新	新	新

戦後又は進行中未詳年月及び其の場所又は地域を別確に知得るおらぬ場合
 は推定又は結構等より努力して記述しなくてはならぬ
 又消息を確認しおらぬ他人から得る由知得事項ありても必ず記述しなくては
 ならぬ
 本票以外でも戦後公表に及ぶおらぬ方を御存じの方はお知らせ下さい

死亡年月日 昭和二十一年三月 死亡場所 佐竹町 戦死

死時の状況 即死

石の通承知してぬますがら申告致します

昭和二十一年三月二十九日

申入籍番 〇〇〇〇 等級 〇〇 氏名 〇〇〇〇

言不籍地 〇〇〇〇

者現住所 〇〇〇〇

の所属部隊 佐世保海軍施設部大野二員宿舎二中队十八班

備考

一本調書中の死歿者の身上関係一切を處理するものであるから慎重に且詳細に記入して下さい
 二他人から聞いて承知した事項は其の旨末尾餘白に記入して下さい

明治二十八年

直屬新設者 件數

所屬新設者 件數

昭和二十八年三月三十一日

于三月三十一日

合計 〇

〇

昭和二十八年三月三十一日

〇

〇

光復者調書

本籍地	[Redacted]
現在所	[Redacted]
所屬部	陸軍部
官身級	一等兵
姓名	[Redacted]
現任職務	兵
現任部	陸軍部
現任職	兵
現任部	陸軍部
現任職	兵

勤務概要 見張德勝 張張長

姓名 張德勝

現任部 陸軍部

現任職 兵

現任部 陸軍部

現任職 兵

姓名 張德勝

現任部 陸軍部

現任職 兵

姓名 張德勝

現任部 陸軍部

現任職 兵

本籍地	[Redacted]
現在所	[Redacted]
所屬部	陸軍部
官身級	一等兵
姓名	[Redacted]
現任職務	兵
現任部	陸軍部
現任職	兵
現任部	陸軍部
現任職	兵

一 本籍地 陸軍部

二 現任部 陸軍部

三 現任職 兵

四 姓名 張德勝

五 現任部 陸軍部

六 現任職 兵

七 姓名 張德勝

八 現任部 陸軍部

九 現任職 兵

十 姓名 張德勝

十一 現任部 陸軍部

十二 現任職 兵

紀役者調書

本籍地	現在所	所屬部隊	入隊年月日	簿級	内地渡り状況	外地到り月日	勤務日数	受傷年月日	受傷部位	備考
				一等	昭和十九年七月	昭和十九年七月	第三師團隊役隊	十九年十月	中肉體帶病	マナリヤ
				年令	令名	鹿島島果				2765 4945 28年8月11日

アロウ場新 丁四章 (磁石場新魚ニテ)

昭和十九年 十月 十日 (午前三時頃)

陸軍省 衛生部 衛生課 衛生課長 衛生課長 衛生課長

衛生課長 衛生課長 衛生課長 衛生課長 衛生課長

昭和十九年 十月 十日

衛生課長 衛生課長 衛生課長 衛生課長 衛生課長

衛生課長 衛生課長 衛生課長 衛生課長 衛生課長

衛生課長 衛生課長 衛生課長 衛生課長 衛生課長

衛生課長 衛生課長 衛生課長 衛生課長 衛生課長

備考

一、本証書は免状者との関係一切を処理するものとする。

二、本証書に主として詳細に記入して下さる。

三、他人が同一の事を知りた事ある場合は、本証書に記入するべき材料付あり

旨詳細に記入して下さい。